

前橋東高校サッカー部 活動速報 R6.12月～ R7.2月

中之条リレーマラソン（12/1）

12月1日(日)、1年生が中之条リレーマラソンに出場しました。中之条町商店街の特設コース3.5kmを10人以内のメンバーでタスキを繋ぎながら5時間走り続けるというこの大会に本校サッカー部は6度目の出場でした。

5人ずつ2チームに分かれ5時間懸命にタスキを繋ぎました。

結果は282チーム中23位と45位でした。

年々競技系ランナーも増えレベルが高くなっており、上位進出が難しくなっていますが、選手たちは楽しみながら走力、団結力を高めることができました。



大阪合宿（12/25～27）

12月25日(水)から27日(金)の3日間、大阪府堺市で合宿を行いました。JFA公認のナショナルトレーニングセンターであるJグリーン堺で行われたJグリーン堺ウィンターユースカップに出場し、連日県外の強豪チームと試合を行うことで大いに刺激を受けました。参加チームは各都道府県でベスト8以上常連のチームばかりでしたが、毎試合チャレンジャー精神で怯むことなく挑み接戦に持ち込むことができました。最終日は午前中で試合が終わり、夜の出発まで大阪散策を行い、大阪の街並みと文化を肌で感じることができました。28日は埼玉県で試合を行い夕方群馬に帰ってきました。車中泊を2回行うハードな合宿でしたが選手は例年同様に心身共に大きく成長しました。



初蹴り（1/2）

1月2日(木)、本校グラウンドにて初蹴りが行われました。OB約50人が集まり、OB vs 現役、OB vs OB で交流戦を行いました。今年もOBの元気な姿を見ることができて良かったです。

現役生も立派に自立した先輩の姿を見て刺激を受けました。

終了後は保護者会の皆さまに豚汁を作っていただき、美味しくいただきました。



○ 群馬県高校サッカー新人大会

〈1回戦〉 vs 太田工業／館林商工	7-0 (6-0・1-0)	○	R7. 1/18
	得点者 塙2 渡邊2 池田2 原口		
〈2回戦〉 vs 伊勢崎	2-1 (0-1・2-0)	○	R7. 1/25
	得点者 片桐 渡邊		
〈3回戦〉 vs 前橋育英	0-4 (0-1・0-3)	●	R7. 2/1
	得点者 なし		

☆ 1回戦は太田工業高校で太田工業高校・館林商工高校の合同チームとの対戦でした。初戦特有の緊張感に加え、土のグラウンドということもあり、上手いかないことが多いだろうと想定していましたが、開始5分で先制点を決めることができ、緊張感からも解放され、前半で大量得点を奪うことができました。2回戦は前橋商業高校で伊勢崎高校と対戦。実力校かつ初戦拮抗した試合をPK戦の末勝ってきたということもあり、後半勝負になる想定で前半は守備の意識を強くもちつつ焦れずに丁寧にボールを動かしながらゴールに迫ることを共有し試合に入りました。しかしチャンスを決めきれず逆に終了間際コーナーキックから失点し1点ビハインドで前半終了。想定通り難しい試合となりましたが、後半交代選手2人が得点をあげ、見事期待に応えてくれました。そのまま後半は無失点に抑え、3回戦全国チャンピオンの前橋育英高校への挑戦権を手に入れました。その3回戦、相手との実力差を考え前半は全員で守備ブロックを固め最小失点で終えるプランで試合に入りました。しかし、相手の技術やスピード感についていけず開始5分で失点。上手く試合に入ることができませんでしたが、徐々に慣れてくると全員で声を掛け合いカバーし合うことで前半を1失点のみで終えることができました。後半メンバー交代を行い前に出ていこうと試合に入りましたが、逆にスペースを使われる場面が連続し、前半と同様にまずは最小失点を維持し、残り少なくなった所で勝負をかけることを共有しました。粘り強く体を張り続け、後半30分まで0-1で推移しましたが、見事なコンビネーションで崩され勝負をかける前に2失点目を喫してしまいました。その後足が止まり一矢報いようと前に出たことでバランスも崩れ立て続けに2点を失い、最終スコア0-4で敗戦となりました。全国選手権の舞台で躍動した選手を多く抱える王者に対して最初の失点から70分過ぎまで崩れず我慢できたことは大きな自信となる一方、攻撃面でほぼチャンスをつくれなかったことは現実として受け止める必要を感じました。今回の試合を良い経験だったで終わらせることなく盗めるものを盗み、この試合の強度やスピード感を基準に今後の練習、試合に取り組み、新シーズンに向けて強化していきたいと思います。

